

平成22年3月期決算説明会資料 平成22年5月20日



Best Synergy & Best Solution

	ページ
I. 平成22年3月期決算の概要	1
I-1. 決算の状況	2
I-2. 営業利益率の推移	3
I-3. セグメント別営業収益	4
I-4. セグメント別営業利益	5
I-5. 財政状態	6
I-6. キャッシュ・フローの状況	7
I-7. セグメント別設備投資額・減価償却費	8
II. 平成23年3月期決算予想	9
II-1. 業績の次期予想	10
II-2. セグメント別営業収益・営業利益の次期予想	11
II-3. セグメント別設備投資額・減価償却費の次期予想	12
III. グループの重点戦略	13
III-1. グループ経営ビジョン	14
III-2. グループ重点戦略	15
III-3. 平成21年度 海外事業（ラービグ・プロジェクト）	16
III-4. 平成21年度 国内事業（3PLプロジェクト）	17
III-5. 環境保全への積極的取組み	18
III-6. 当社施設 表彰	19
III-7. 今後の取組み	20

【補足資料】	ページ
①保管用倉庫面積・保管残高	21
②トランクルーム期末保管残高	22
③港湾運送取扱量	23
④国際輸送取扱量	24
⑤賃貸ビル面積	25

本資料は投資勧誘を目的とした資料ではありません。あくまでも参考資料であり、正確な決算数値等は決算短信・有価証券報告書等をご参照下さい。本資料で記述しております業績予想並びに将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、需要動向などの業況の変化、物価変動等、多分に不確実要素を含んでおります。そのため、実際の業績は、様々な要因の変化により業績予想と乖離することもありますので、ご承知おきいただきますようお願いいたします。

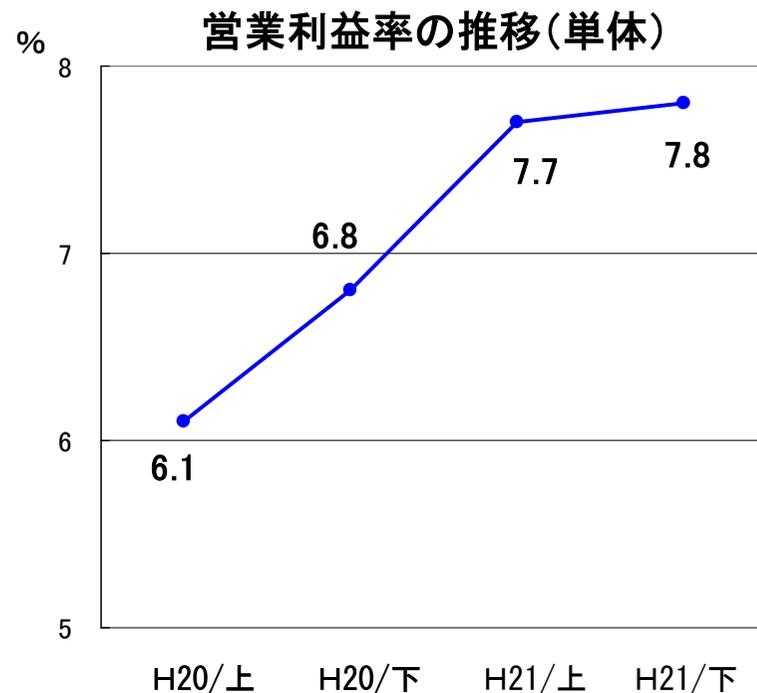
I .平成22年3月期決算の概要

単位:百万円

区 分	平成21年3月期		平成22年3月期		増 減	
	金 額	収益比	金 額	収益比	金 額	比 率
営業収益	131,871	100.0%	121,619	100.0%	▲10,251	▲7.8%
営業利益	7,126	5.4%	7,910	6.5%	783	11.0%
経常利益	7,767	5.9%	8,433	6.9%	665	8.6%
当期純利益	1,671	1.3%	3,068	2.5%	1,397	83.6%
1株当たり当期 純利益 (円)	9.08	—	17.20	—	—	—

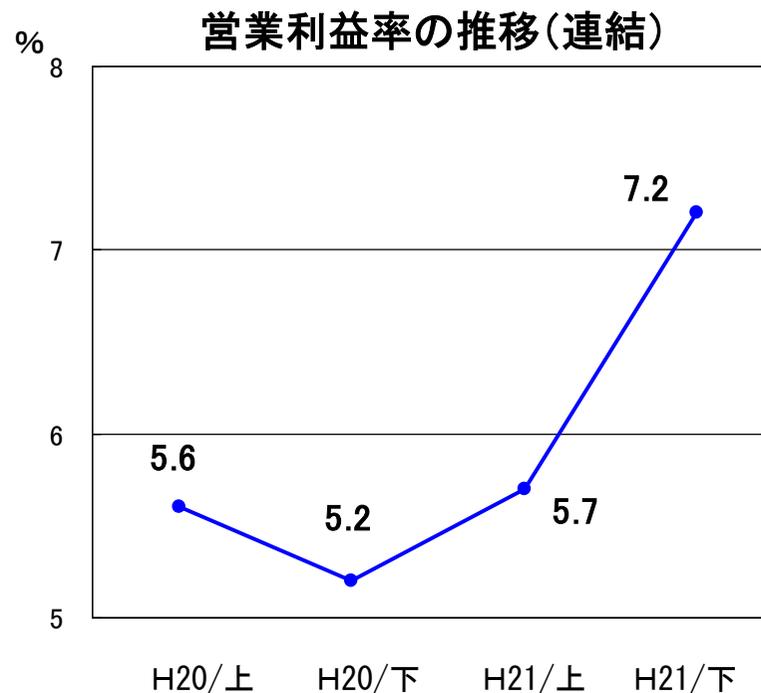
営業収益	不動産事業は概ね前期並みに推移したものの、物流事業は景気低迷に伴う貨物量の減少に加え、取扱料金の下落により、減収
営業利益	経費の削減に加え、租税公課の減少等により、増益
経常利益	受取配当金の減少により営業外収支は減となったものの、営業利益増により、増益
当期純利益	投資有価証券評価損が前期比で大幅に減少し、増益

I-2. 営業利益率の推移



単位:百万円

		H20/上	H20/下	H21/上	H21/下
単 体	営業収益	43,510	40,512	37,044	39,866
	営業利益	2,671	2,757	2,857	3,115
	営業利益率	6.1%	6.8%	7.7%	7.8%



単位:百万円

		H20/上	H20/下	H21/上	H21/下
連 結	営業収益	69,542	62,329	58,772	62,847
	営業利益	3,864	3,262	3,365	4,545
	営業利益率	5.6%	5.2%	5.7%	7.2%

I-3. セグメント別営業収益

単位: 百万円

区 分	平成21年3月期	平成22年3月期	増	減
1. 物流事業	121,767	111,610	▲10,156	▲8.3%
①倉庫収入	19,356	18,983	▲373	▲1.9%
②港湾運送収入	37,240	33,270	▲3,970	▲10.7%
③国際輸送収入	27,638	23,183	▲4,454	▲16.1%
④陸上運送ほか収入	37,531	36,172	▲1,358	▲3.6%
2. 不動産事業	10,308	10,242	▲66	▲0.6%
⑤不動産事業収入	10,308	10,242	▲66	▲0.6%
計	132,075	121,853	▲10,222	▲7.7%
消去又は全社	▲204	▲233	▲28	▲14.1%
営業収益	131,871	121,619	▲10,251	▲7.8%

①倉庫収入	前期に稼働した新規施設が寄与したものの、荷動きの低迷により入出庫の取扱いが低調に推移するとともに、在庫調整の進展等による貨物保管残高の減により、減収
②港湾運送収入	コンテナ荷捌・一般荷捌とも下半期には若干持ち直したものの、上半期の落ち込みが大きく、減収
③国際輸送収入	取扱量は概ね堅調に回復しつつあるものの、運賃の下落の影響が響き、減収
④陸上運送ほか収入	東大阪の物流施設賃貸収入が寄与したものの、陸上運送が荷動き不振の影響を受け、減収
⑤不動産事業収入	大阪 道頓堀再開発の一環として建設した商業施設の新規稼働はあったが、賃貸ビルにおいて一部テナントの退去等があり、微減

I-4. セグメント別営業利益

単位:百万円

区 分	平成21年3月期	平成22年3月期	増	減
1. 物流事業	5,488	6,329	840	15.3%
2. 不動産事業	6,012	6,062	49	0.8%
計	11,501	12,391	890	7.7%
消去又は全社	▲4,374	▲4,481	▲106	▲2.4%
営業利益	7,126	7,910	783	11.0%

物流事業	営業原価の圧縮に努めたことに加え、前期に発生した新規稼働倉庫に係る一時費用がなくなったため、増益
不動産事業	大阪 道頓堀再開発の商業施設が全面稼働したことに加え、減価償却費及び間接費用の減により、増益

単位:百万円

区 分	平成21年3月期末	平成22年3月期末	増 減 額
総 資 産	216,097	235,986	19,888
負 債	111,876	121,609	9,732
純 資 産	104,221	114,377	10,155
(うち少数株主持分)	(4,081)	(4,324)	(243)
自己資本比率	46.3%	46.6%	-
1株当たり純資産	560.96円	616.54円	55.58円

総 資 産	有形及び無形固定資産が経年減価により減少したものの、株式相場回復に伴い投資有価証券が増加
負 債	その他有価証券評価差額に係る繰延税金負債の増加や未払法人税等が増加
純 資 産	利益剰余金の増とその他有価証券評価差額金の増などにより、増加

I-6. キャッシュ・フローの状況

単位:百万円

区 分	平成21年3月期	平成22年3月期	増 減 額
営業活動によるCF	10,618	14,523	3,904
投資活動によるCF	▲10,037	▲17,115	▲7,078
財務活動によるCF	3,207	▲1,682	▲4,889
現金及び現金同等物の期末残高	14,669	10,484	▲4,184

営業活動によるCF	税金等調整前当期純利益と減価償却による内部留保等により増加
投資活動によるCF	有形及び無形固定資産の取得が前期に比べ減少したが、定期預金の預入や投資有価証券の取得等により、支出額が増加
財務活動によるCF	長期借入金の返済及び配当金の支払いにより支出額が増加

I-7. セグメント別設備投資額・減価償却費

設備投資額

単位:百万円

区 分	平成21年3月期	平成22年3月期	増 減 額
1. 物流事業	4,817	1,245	▲3,572
2. 不動産事業	3,078	297	▲2,780
計	7,895	1,543	▲6,352
3. 全社	210	124	▲85
連 結	8,106	1,667	▲6,438

減価償却費

単位:百万円

区 分	平成21年3月期	平成22年3月期	増	減
1. 物流事業	4,215	4,146	▲69	▲1.6%
2. 不動産事業	1,970	1,870	▲100	▲5.1%
計	6,186	6,016	▲169	▲2.7%
3. 全社	305	619	313	102.6%
連 結	6,491	6,635	144	2.2%

Ⅱ.平成23年3月期決算予想

II-1. 業績の次期予想

単位：百万円

区 分	平成22年3月期実績		平成23年3月期予想		増 減	
	金 額	収益比	金 額	収益比	金 額	比 率
営業収益	121,619	100.0%	128,000	100.0%	6,380	5.2%
営業利益	7,910	6.5%	8,500	6.6%	589	7.5%
経常利益	8,433	6.9%	9,200	7.2%	766	9.1%
当期純利益	3,068	2.5%	5,200	4.1%	2,131	69.4%
1株当たり当期純利益（円）	17.20	-	29.15	-	-	-

営業収益	物流事業において、輸出入貨物の取扱い増加と遠州の3PL事業のフル稼働等により増収を予想
営業利益	償却費の減と荷動き回復により増益を予想
経常利益	受取配当金の増加により営業外損益の改善を予想

II-2. セグメント別営業収益・営業利益の次期予想

営業収益

単位:百万円

区 分	平成22年3月期 実績	平成23年3月期 予想	増 減	
1. 物流事業	111,610	118,300	6,689	6.0%
2. 不動産事業	10,242	9,900	▲342	▲3.3%
計	121,853	128,200	6,346	5.2%
消去又は全社	▲233	▲200	33	14.2%
営業収益	121,619	128,000	6,380	5.2%

営業利益

単位:百万円

区 分	平成22年3月期 実績	平成23年3月期 予想	増 減	
1. 物流事業	6,329	7,200	870	13.8%
2. 不動産事業	6,062	5,800	▲262	▲4.3%
計	12,391	13,000	608	4.9%
消去又は全社	▲4,481	▲4,500	▲18	▲0.4%
営業利益	7,910	8,500	589	7.5%

II-3. セグメント別設備投資額・減価償却費の次期予想

設備投資額

単位:百万円

区 分	平成22年3月期 実績	平成23年3月期 予想	増 減 額
1. 物流事業	1,245	1,800	554
2. 不動産事業	297	850	552
計	1,543	2,650	1,106
3. 全社	124	50	▲74
連 結	1,667	2,700	1,032

減価償却費

単位:百万円

区 分	平成22年3月期 実績	平成23年3月期 予想	増 減	
1. 物流事業	4,146	3,900	▲246	▲5.9%
2. 不動産事業	1,870	1,800	▲70	▲3.8%
計	6,016	5,700	▲316	▲5.3%
3. 全社	619	650	30	5.0%
連 結	6,635	6,350	▲285	▲4.3%

Ⅲ.グループの重点戦略

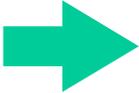
目指すべき企業像:「物流と不動産のソリューション・プロバイダー」

住友倉庫グループ重点戦略

強みを融合した
最適ソリューションの提供



海外ビジネスの拡充



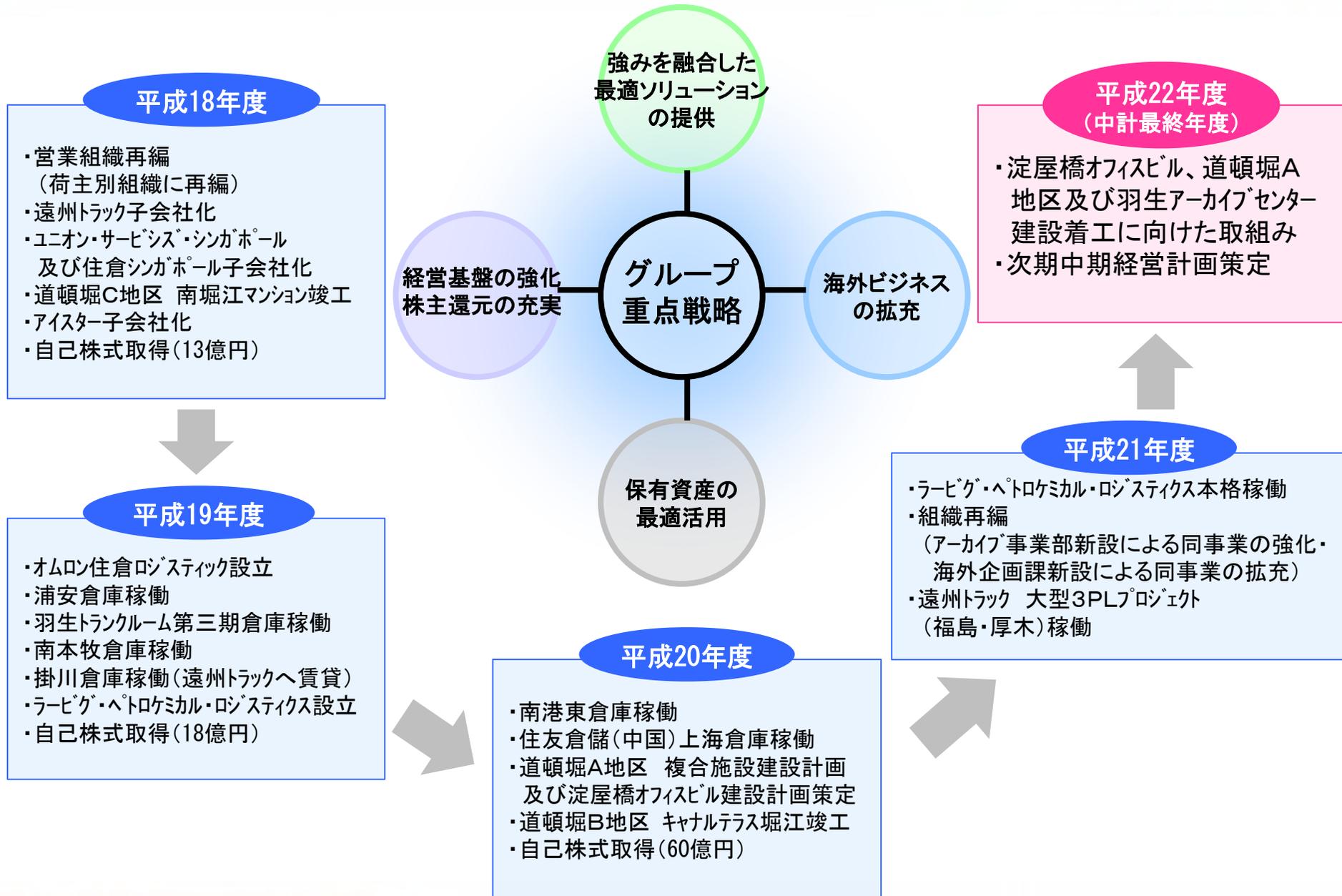
保有資産の最適活用



経営基盤の強化
及び
株主還元の充実



物流	<ul style="list-style-type: none"> ・営業体制の強化 ・倉庫事業の再構築 (配送センター業務及びアーカイブ事業の強化) ・港湾運送事業の拡大 ・中国・東南アジアビジネスの拡充
不動産	<ul style="list-style-type: none"> ・既存再開発事業の推進 ・新規開発案件の拡大
全社	<ul style="list-style-type: none"> ・他社との連携強化 ・情報システムへの投資 ・ガバナンスの強化 ・株主還元の充実



ラービグ・ペトロケミカル・ロジスティクス(RPL) 本格稼働



RPL保有のトラック



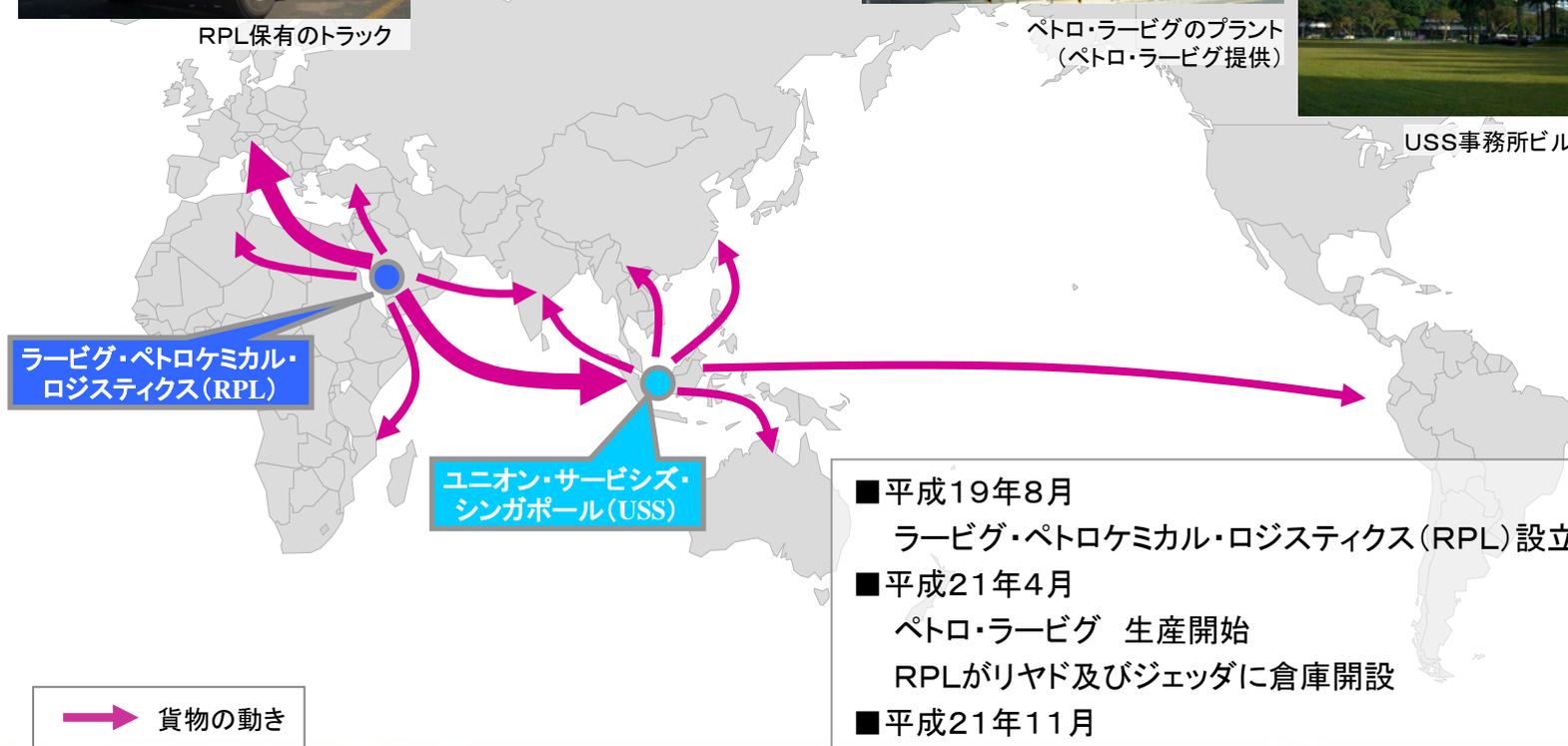
ジェッダ港 (Saudi Ports Authority提供)



ペトロ・ラービグのプラント
(ペトロ・ラービグ提供)



USS事務所ビル



- 平成19年8月
ラービグ・ペトロケミカル・ロジスティクス(RPL) 設立
- 平成21年4月
ペトロ・ラービグ 生産開始
RPLがリヤド及びジェッダに倉庫開設
- 平成21年11月
ペトロ・ラービグ 竣工式開催 <RPL本格稼働>

遠州トラック(株)における大型3PLプロジェクト

■ 福島営業所（福島県東白川郡）

初の東北地区での拠点

- ・ 顧 客 大手衛生用品メーカー様
- ・ 取扱内容 衛生ケア用品の北日本（1道12県向け）配送センター業務
- ・ 稼働 平成21年6月

■ 厚木要冷センター（神奈川県厚木市）

消費者物流への足掛り

- ・ 顧 客 生活協同組合連合会ユーコープ事業連合様
- ・ 取扱内容 無店舗供給事業（共同購入・宅配事業）における神奈川・山梨両県への冷凍冷蔵品の供給のための工場運営と配送業務
- ・ 稼働 平成21年11月
（フル稼働）平成22年 2月
- ・ 契約期間 20年間
- ・ 取扱点数 最大1億5千万点／年
（予想）



厚木要冷センター外観

環境に配慮した企業活動の推進

【環境保全に関する主な取組み】

平成18年 5月	環境方針 制定
平成18年10月～	グリーン経営認証（倉庫業）取得
平成19年 4月～	倉庫施設において順次CASBEE Aランク評価 取得
平成19年 7月～	物流総合効率化計画認定 取得
平成20年 5月	環境配慮型施設 大阪・南港東倉庫 竣工（19頁参照）
平成22年 2月	CSR委員会に「省エネルギー推進会議」設置

モーダルシフトへの取組み

◆海運(船)を使った取組み

平成15年～ 大阪港－神戸港間の空コンテナの輸送を陸上輸送から海上輸送へ転換。

平成22年～ 国土交通省の内航フィーダーサービス等の充実のためのモデル事業を開始。

◆鉄道を使った取組み

厚木営業所（神奈川県）と南港東営業所（大阪府）の貨物輸送に鉄道を利用。CO2排出量、約80%低減を実現。



平成22年度からの改正省エネ法への対応：中長期の環境関連投資を実施へ

■南港東倉庫 第3回大阪サステナブル建築賞 優秀賞 受賞（平成22年2月）

【大阪サステナブル建築賞】

大阪府温暖化の防止等に関する条例に基づき、室内環境向上、省エネルギー、省資源、資源循環、長寿命化、環境負荷の低減等に配慮した建築物が表彰される。

◆評価のポイント

- ① CASBEE-大阪 Aランク評価
- ② 屋上緑化・太陽光発電設備設置
- ③ 雨水利用



(上)南港東倉庫
(右上)太陽電池
(右下)屋上緑化

■キャナルテラス堀江 第29回大阪都市景観建築賞 大阪市長賞 受賞（平成22年2月）

【大阪都市景観建築賞】

周辺環境の向上に資し、かつ景観上優れた建物や街並みを表彰するもので、広く一般からの推薦があった建物・街並みの中から選定される。

◆評価のポイント

道頓堀川に面してガラスウォールを配した外観が、川面と一体となって良好な親水景観を形成している。



キャナルテラス堀江

アーカイブ事業

■羽生アーカイブセンターの建設

埼玉県羽生市に書類保管・取扱いの拠点を建設



不動産事業

■道頓堀再開発プロジェクト

A地区(約5,800㎡、容積率910%)に、
商業施設・ホテル・賃貸住宅の複合施設を
建設予定



完成予想図

■淀屋橋オフィスビル建設計画

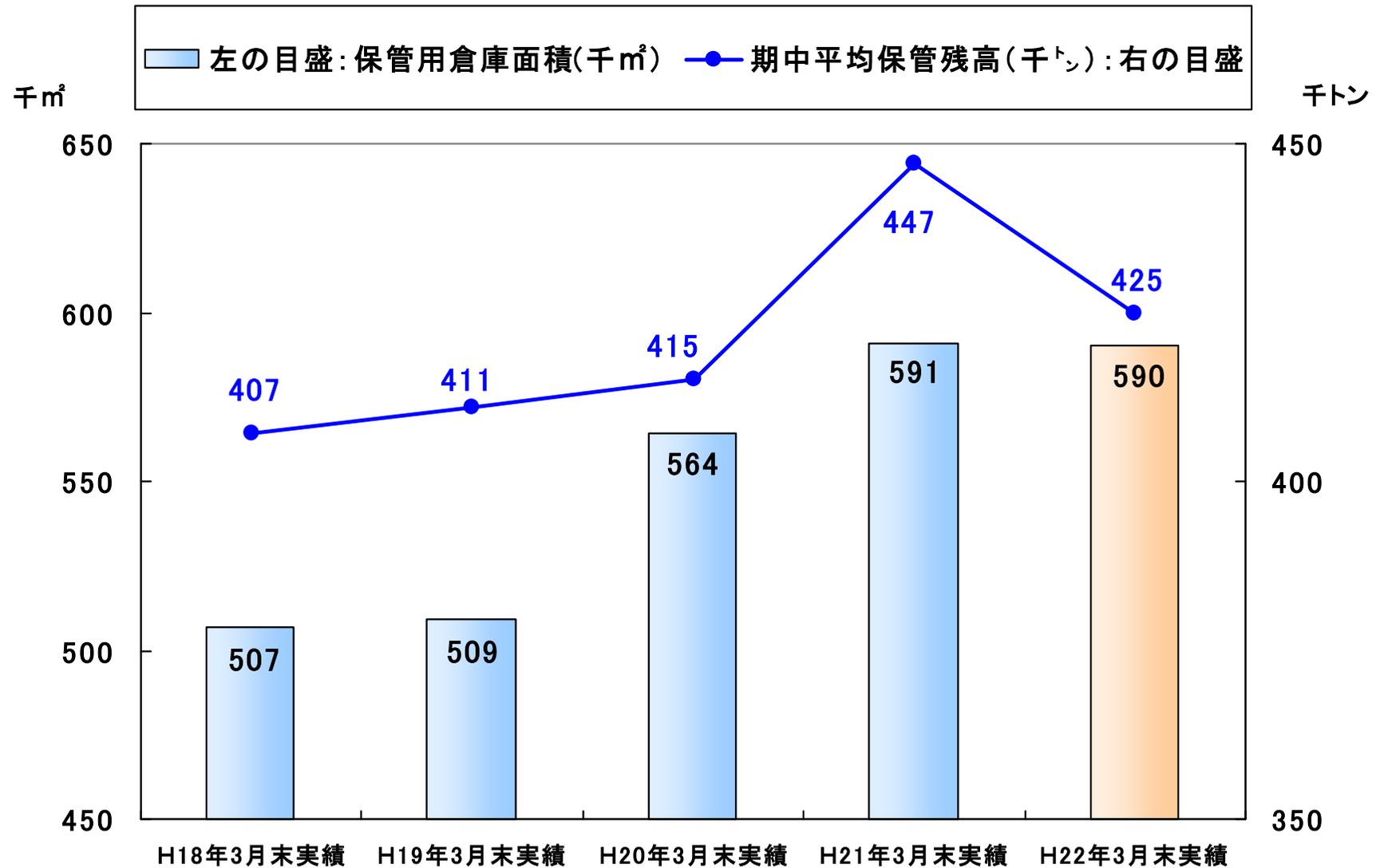
淀屋橋(大阪市中心区、1,675㎡)に、
賃貸用オフィスビルを建設予定



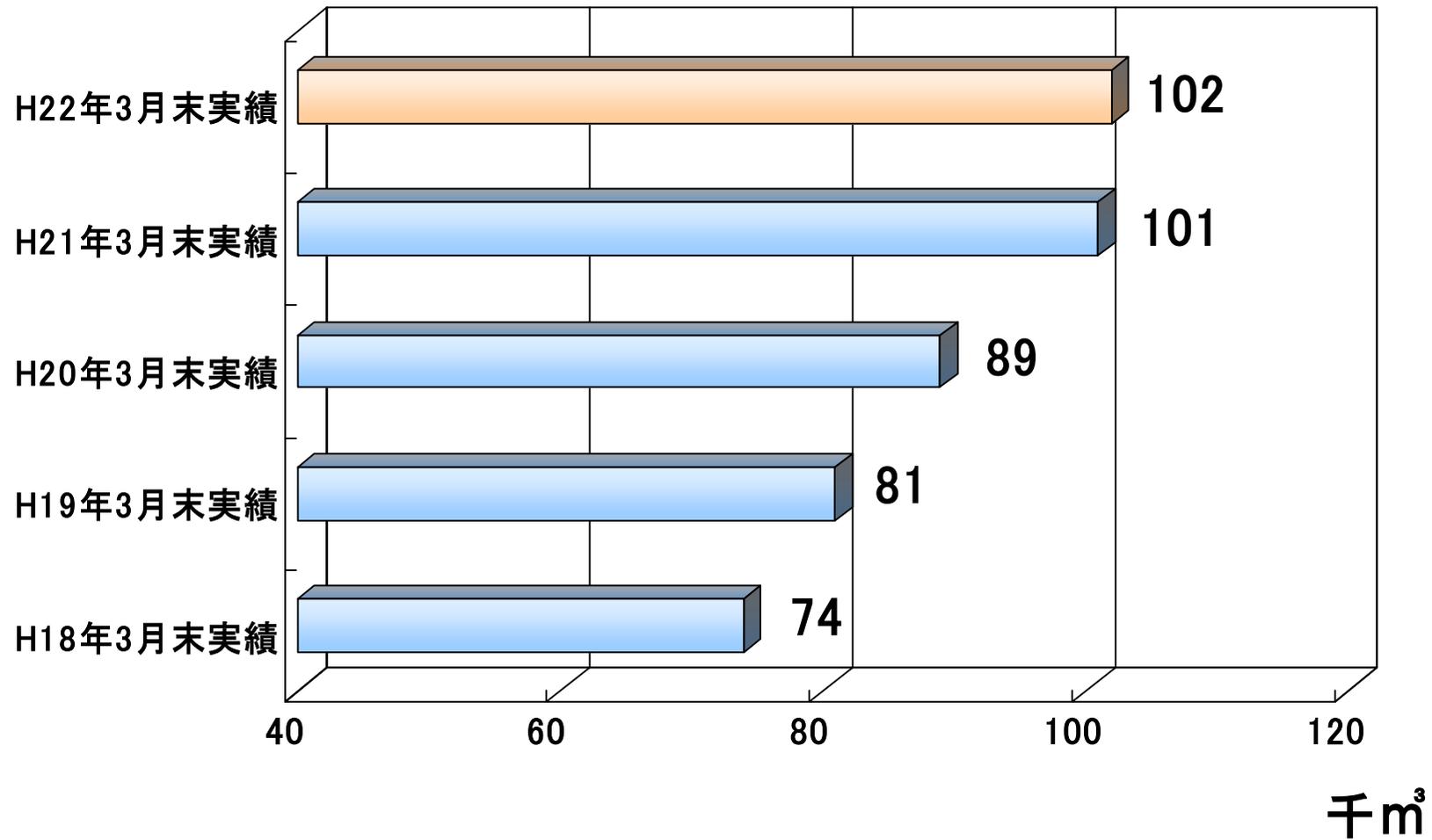
完成予想図

補 足 資 料

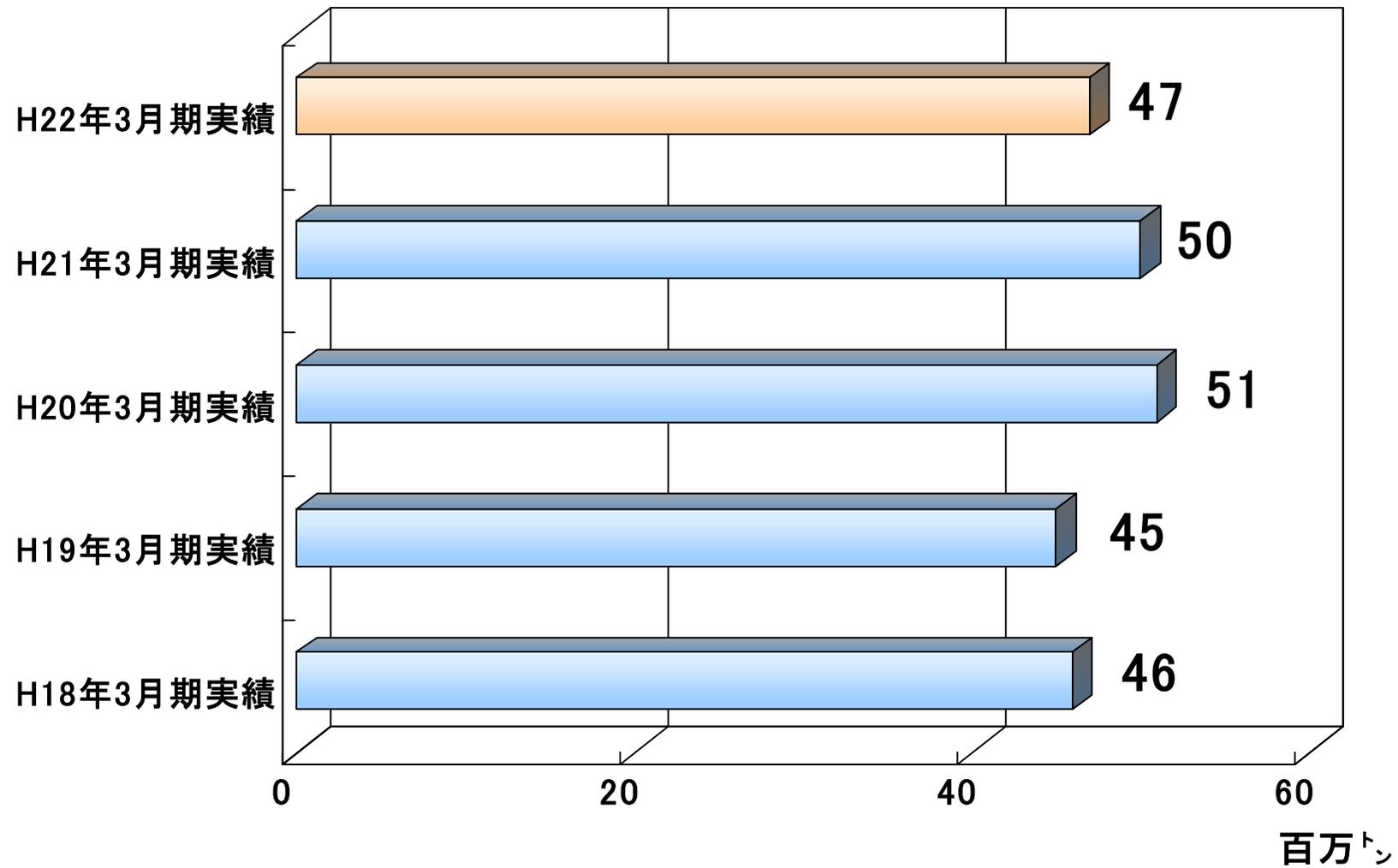
①保管用倉庫面積・保管残高



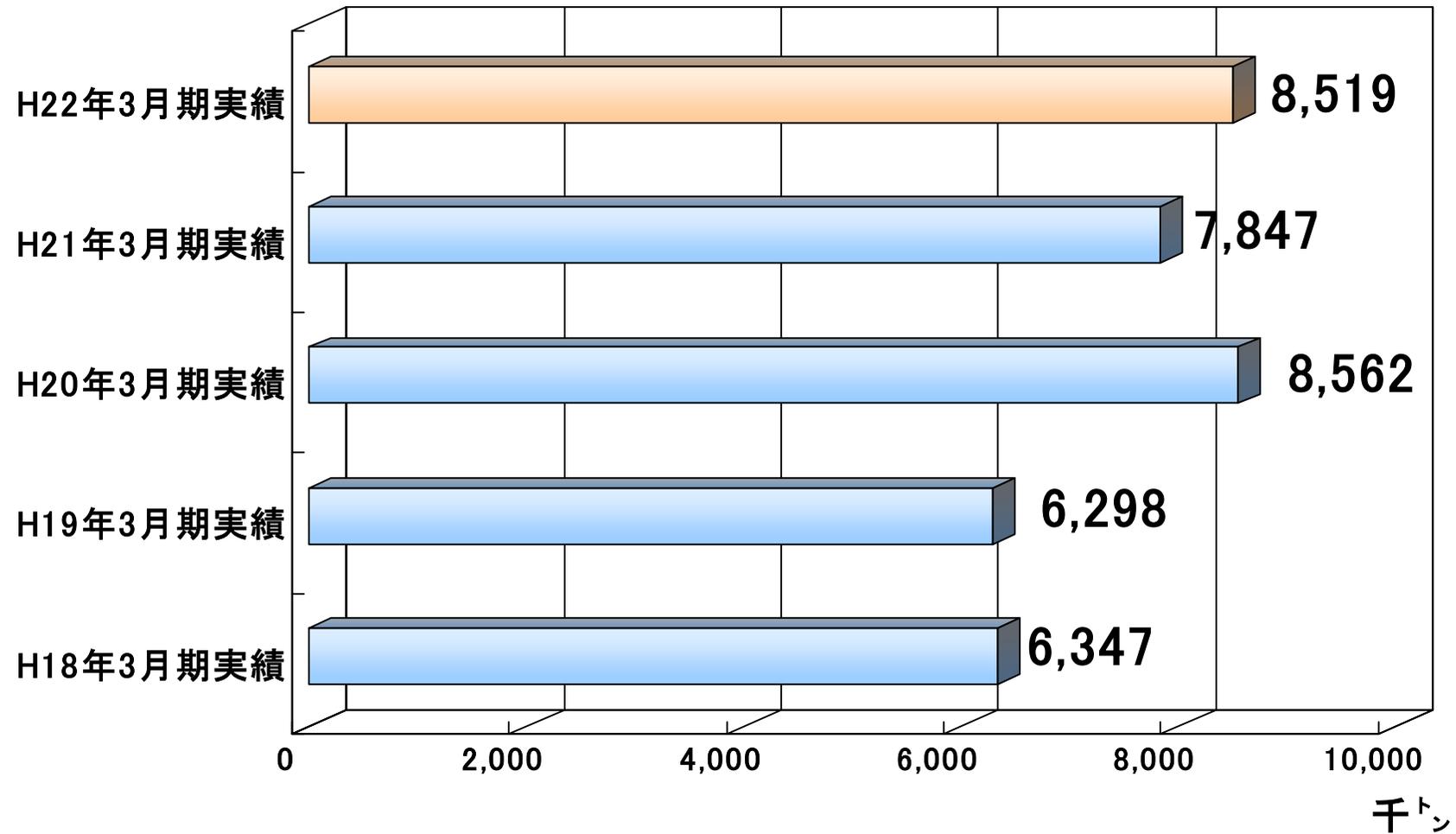
②トランクルーム期末保管残高



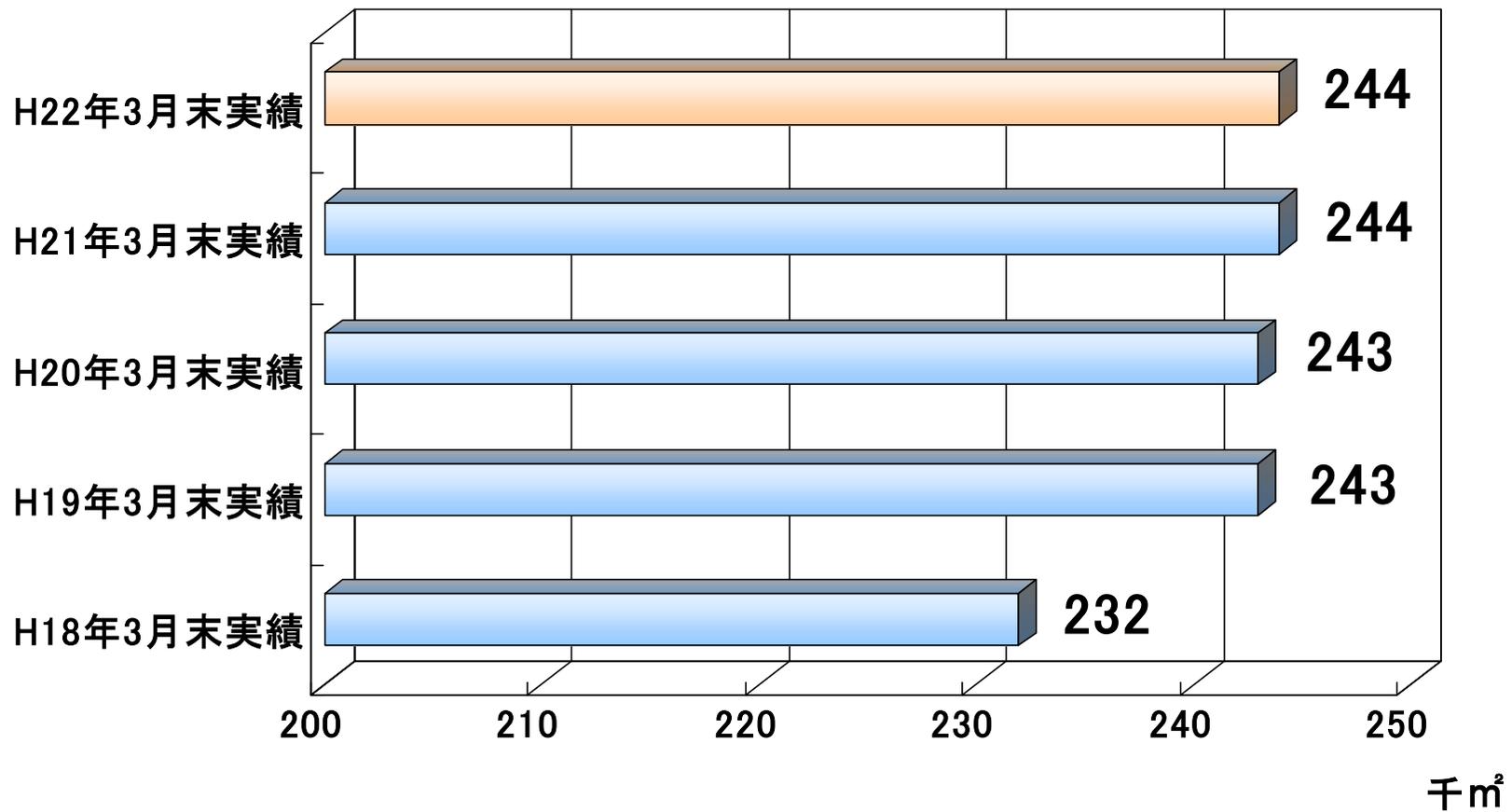
③港湾運送取扱量



④国際輸送取扱量



⑤賃貸ビル面積



本日はありがとうございました



ハードとソフトを効果的に組み合わせ
お客様にとって最適な価値を提案・実現する



Best Synergy & Best Solution



IRに関する連絡先

株式会社 住友倉庫 事業推進部広報IR課(担当:久保田)

〒550-0021 大阪市西区川口2-1-5

TEL 06-6581-1104 FAX 06-6581-3870

E-Mail : ir_bx@sumitomo-soko.co.jp